



新学期が始まり元気に子供たちが学校に戻ってきました。夏季休業中は蝉しぐれが響いていましたが、今は夜になると虫の声が聞こえるようになりました。しばらくは暑い日が続きますので、健康第一に少しずつ心と身体を慣らし、実り多い2学期としてまいりましょう。

蝉は地中の中で数年過ごし、脱皮しながら明るい地上に出て過ごす時間は数週間、と言われます。卵や幼虫期を含めると昆虫の中ではトップレベルの長生き、とのことですが明るい地上で元気に声を響かせる時間が短く儚いイメージがあります。私はこの夏、蝉の幼虫が地上に出て羽化し、成虫になる瞬間に思いがけず出会いました。生まれたての蝉は光り輝いていました。生命の神秘に深く感動し、命の尊さに感謝の気持ちが自然とこみ上げてきました。



何気ない日常の中で予期せぬことがあります。自然災害に見舞われた地域の方々の日常への回復を心から願うとともにかけがえのない今の時間を大切に、皆で力を合わせていきたいと思います。始業式で子供たちは、友達や先生に会えてうれしい気持ちを表現したり、落ち着いて話を聞いたりしていて素敵でした。子供たちが安心して学び、一人一人の良さや可能性をさらに伸ばしていけるよう、教職員が力を合わせてまいります。今学期も皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

『第75回はたらく消防の写生会』受賞おめでとうございます！
本校から、優秀賞1名、入選3名の児童の作品が選ばれました。
9/30まで石神井消防署HPにてウェブ展示会開催中です。
是非ご覧ください。 [ウェブ展示会 | 東京消防庁](#)



8/28 教職員防犯・消火訓練
消防署の方に御協力いただきました

■夏季教員研修について

本校では、児童・生徒の実態を多面的に捉え、適切な支援につなげられるように、日頃より様々な分野の外部専門員の先生と連携・協働しています。この夏休みの間にも、「夏季特別支援教育専門性向上研修」として外部専門員の先生方6名を講師にお迎えし、5つの講座を開催しました。そして、職員室前の廊下では、「教材展」を実施しました。本校教員がそれぞれ手作りした教材を並べ、実際に手に取り合いながら教材の交流を深め合うことができました。今夏の学びを、2学期の教育活動に活かしていきたいと思います。(研究部 木村 信夫)

